

● 使用前の確認

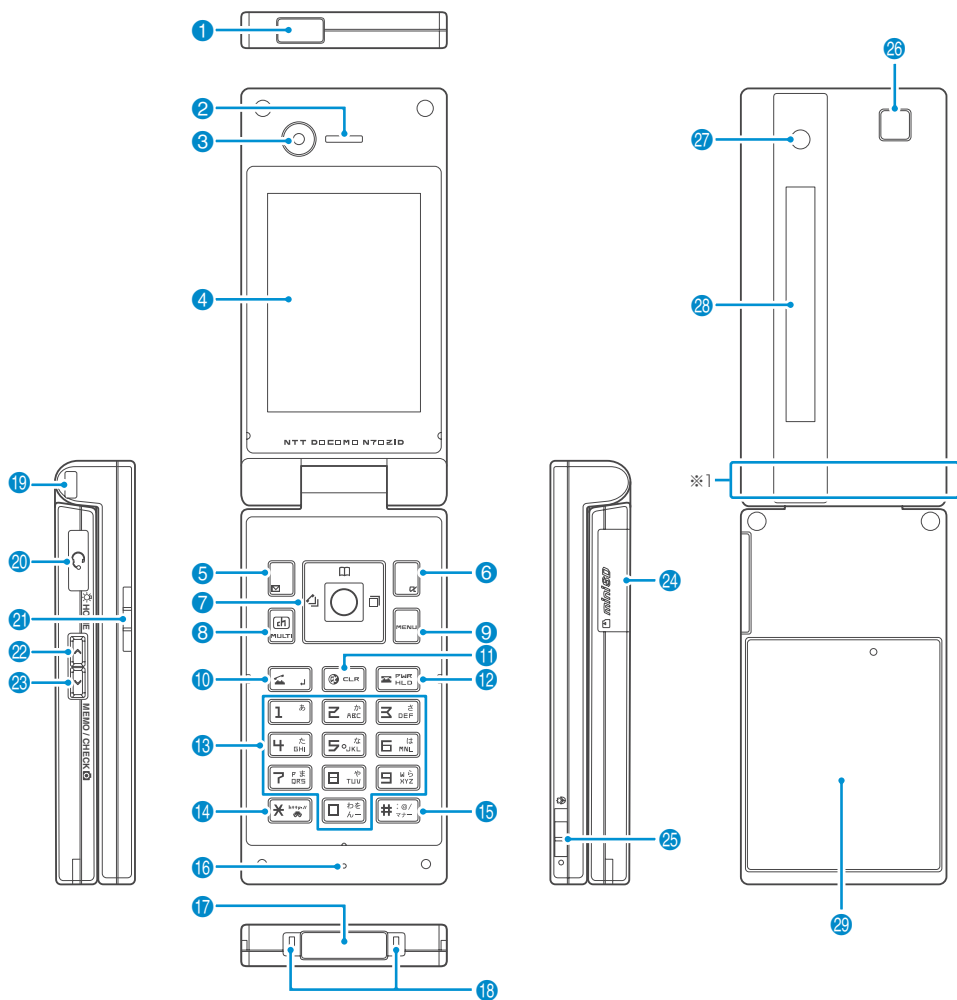
各部の名称と機能.....	26
ディスプレイの見かた.....	29
イルミネーション・ウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた.....	32
メニューの選択方法.....	34
メニュー機能について.....	40
FOMAカードを使う.....	42
電池パックの取り付けかた／取り外しかた.....	45
携帯電話を充電する.....	47
電池残量の確認のしかた.....	49
電源を入れる／切る.....	50
初期設定を行う.....	初期値設定 50
日付・時刻を合わせる.....	時計設定 51
相手に自分の電話番号を通知する.....	発信者番号通知 52
自分の電話番号を確認する.....	自局番号表示 52

各部の名称と機能

本機のボタンの名称と機能は、右ページのとおりです。

使用前の確認

各部の名称と機能
























※1：アンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で電話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにお使いください。

サイズ (mm) ※2	高さ98×幅48×厚さ18.7
質量 (g) ※3	約112

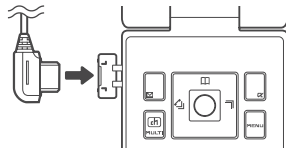
※2：高さ、厚さは折り畳んでいるときのものです。



※3：電池パックを装着しているときのものです。

■機能について

- 1 赤外線ポート**
・赤外線を送受信する窓です。→P.312
- 2 受話口**
- 3 内側カメラ**
・静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に送信する自分の映像を撮影します。
- 4 ディスプレイ**
- 5 ファンクションボタン 1** 
・画面左下のソフトキーに表示された内容を実行します。
→P.28
- 6 ファンクションボタン 2** 
・画面右下のソフトキーに表示された内容（主に機能メニュー）を実行します。→P.28
- 7 マルチファンクションボタン**
上ボタン  / **下ボタン** 
・カーソルや反転表示を上方向または下方向へ移動させます。
・表示内容を上方向または下方向へスクロールさせます。押し続けると連続スクロールになります。
・入力した文字を漢字、カタカナ、数字に変換します。
・上ボタン  は、電話帳メニュー画面を表示します。
・下ボタン  は、電話帳検索メニュー画面を表示します。
左ボタン  / **右ボタン** 
・カーソルを左方向または右方向へ移動させます。
・表示内容を画面単位で前の画面または次の画面へスクロールさせます。
・左ボタン  は、着信履歴を表示します。→P.69
・右ボタン  は、リダイヤルを表示します。→P.57
決定ボタン 
・画面中央下のソフトキーに表示された内容を実行します。
→P.28
- 8 チャネル / マルチボタン** 
・待受画面でチャネル一覧を表示します。→P.273
・タスク（機能）を起動中はタスクメニューを表示します。
→P.323
- 9 メニューボタン** 
・メインメニューを表示します。→P.34
- 10 開始ボタン** 
・音声電話をかけます。→P.54
・音声電話に出ます。→P.66
・テレビ電話に出ます。→P.87
・入力した文字を小文字 / 大文字に切り替えます。→P.370
- 11 戻る (クリア) ボタン** 
・操作を1つ前の状態に戻します。→P.37
・通話を保留します。→P.55
・入力した電話番号や文字を削除します。→P.54、372
・iアプリ待受画面に設定したソフトを起動します。→P.269
- 12 電源 / 終了 / 応答保留ボタン** 
・1秒以上押しして電源を入れます。→P.50
・2秒以上押しして電源を切ります。→P.50
・通話を終了します。→P.54
・応答を保留します。→P.72
- 13 ダイアルボタン**   ~ 
・電話番号を入力します。→P.54
・文字や数字を入力します。→P.369
- 14 * / 公共モード (ドライブモード) ボタン** 
・「*」や「[http://」などの文字列を入力します。→P.365
- 15 # / マナーボタン** 
・「#」や記号を入力します。→P.365
・着信中に押しと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.79
- 16 送話口 / マイク**
・通話中に送話口をふさがないでください。相手にお客様の声が聞こえにくくなります。
・カメラで動画を撮影するときや、「ピクチャボイス」で音声録音するときマイクになります。

- 17 外部接続端子**
・各種オプション類を接続するときに使用する端子です。
- 18 充電端子**
- 19 ストラップ取付穴**
- 20 イヤホンマイク端子**
・平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込みます。イヤホンジャック変換アダプタPO01（別売）を使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイク（別売）もご利用になれます。



- 21 スピーカ**
- 22 HOME / 音量大 / (🔊) ボタン**  *1
・「ホームURL設定」(P.202) で設定したサイトへiモードで簡単に接続できます。
・本FOMA 端末を折り畳んだまま押しと、イルミネーション・ウィンドウが点灯し、時刻などを確認することができます。
・通話中に受話音量を上げます。→P.71
・文字を入力中に同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻します。→P.364
・カメラ撮影のときにライトを点灯します。
・イルミネーション・ウィンドウに表示中のテロップを消します。
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロールさせます。
- 23 MEMO / CHECK / 音量小 / (🔇) ボタン**  *1
・着信中に押しと「マナーモード」になり、「伝言メモ」に移ります。→P.79
・伝言メモを再生します。→P.79
・本FOMA 端末を折り畳んだまま押しと、イルミネーション・ウィンドウが点灯し、時刻などを確認することができます。
・本FOMA 端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールを確認します。→P.76
・通話中に受話音量を下げます。→P.71
・カメラ撮影をします。
・イルミネーション・ウィンドウに表示中のテロップを消します。
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロールさせます。
- 24 miniSDメモリーカードスロット**
・miniSDメモリーカードを差し込みます。→P.302
- 25 レンズ切替スイッチ**
・アクセスリーダーやバーコードリーダーで情報を読み取るときに、外側カメラのレンズを👉(マクロレンズ)に切り替えます。→P.162
- 26 ライト / 着信 / 充電ランプ**
・カメラ撮影するとき使用します。
・音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、メールやメッセージR、メッセージFを受信したときに点滅します。充電中は赤色に点灯します。
- 27 外側カメラ**
・静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手側に送信する風景などの映像を撮影します。
- 28 イルミネーション・ウィンドウ**
・本FOMA 端末の状態をメッセージやアイコン、アニメーションで表示します。
- 29 リアカバー**

*1：本書ではとを合わせてサイドボタンと呼びます。

ボタンの長押し操作について

ボタンを1秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ	ボタン	機能	参照ページ
	受信アドレス一覧の表示	P.246		サイドボタンの無効/有効 (メインメニュー表示中)	P.154
	送信アドレス一覧の表示	P.246		公共モード (ドライブモード) の設定/解除 (待受画面表示中)	P.73
	PIMロックの設定/解除 (シンプルロック設定中で待受画面表示中)	P.153		「p (ポーズ)」の入力 (ポーズダイヤル編集中)	P.59
	バックライトの点灯/消灯の切替	P.128		受話音量の調節 (待受画面表示中、通話中)	P.71
	「+」の入力 (待受画面、電話番号を入力する画面)	P.62		音声メモの録音 (通話中)	P.332
				静止画撮影画面の表示 (待受画面表示中)	P.162
	マナーモードの設定/解除 (待受画面表示中、通話中)	P.122		iモード問い合わせ (待受画面表示中)	P.205、234
	タスクメニューの表示 (待受画面表示中)	P.323		iアプリのソフト一覧表示 (待受画面表示中)	P.264
	待受画面の表示 (マルチタスク中)	P.323		親画面の表示切替 (テレビ電話中)	P.82、84

ソフトキーの使いかた

画面下に表示されたソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押します。

■ ①のソフトキーを実行する場合

を押すと、①に表示されたソフトキーを実行します。

①には [文字]、[編集]、[登録]、[完了]、[デモ]、などが表示されます。

■ ②のソフトキーを実行する場合

を押すと、②に表示されたソフトキーを実行します。

②には [選択]、[確定]、[再生]、[切替]などが表示されます。

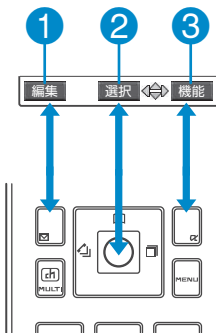
■ ③のソフトキーを実行する場合

を押すと、③に表示されたソフトキーを実行します。




③には [機能]、[閉]などが表示されます。

[機能]が表示されているときにを押すと、機能メニューが表示されます。→P.38

※本書の操作説明では、ファンクションボタンを押すときは原則として、[編集]、[選択]、[機能]のように、[]内にソフトキーの表示を記載します。

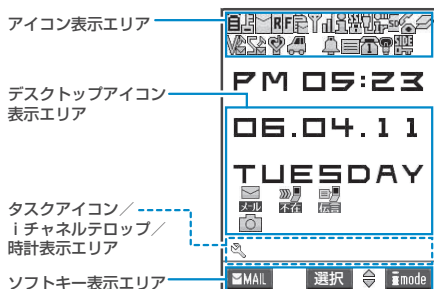


ディスプレイの見かた



































ディスプレイおよびイルミネーション・ウィンドウに表示されるマーク（、、など）をアイコンといいます。

●ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.126

■ディスプレイ



アイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	電池残量表示→P.49		i モードセンターにメッセージRあり→P.205
	オールロック設定中→P.147		i モードセンターのメッセージR満杯→P.205
	シークレットモード中、シークレット専用モード中 →P.149		i モードセンターにメッセージFあり→P.205
	PIMロック設定中→P.152		i モードセンターのメッセージF満杯→P.205
	ダイヤル発信制限中→P.154		電波の受信レベル→P.50
	ダイヤル発信制限とシークレットモードまたは シークレット専用モードを同時に設定中 →P.149、154		サービスエリア外や電波が届かないところにいる ときに表示→P.50
	ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中 →P.152、154		セルフモード設定中→P.159
	未読メールあり→P.231		i モード中→P.189
	受信BOX 満杯→P.231		i モード通信中→P.189
	FOMAカードのSMS 満杯→P.258		パケット通信中*1
	未読メールあり / FOMAカードのSMS 満杯 →P.258		パケット通信中 (発信) *1
	受信BOX 満杯 / FOMAカードのSMS 満杯 →P.231、258		パケット通信中 (着信) *1
	未読メッセージRあり→P.203		パケット通信中 (データ送信中) *1
	メッセージR 満杯→P.204		パケット通信中 (データ受信中) *1
	未読メッセージFあり→P.203		SSL 対応ページを表示中→P.191
	メッセージF 満杯→P.204		通信モード中、USB ケーブル未接続時、ハンズフ リー対応機器未接続時→P.309
	i モードセンターにメールあり→P.234		通信モード中、USB ケーブル接続時、ハンズフ リー対応機器未接続時→P.309
	i モードセンターのメール満杯→P.234		通信モード中、USB ケーブル接続時、ハンズフ リー対応機器接続時→P.65、309
	「メール選択受信設定」が「ON」に設定されているとき に i モードセンターにメールあり→P.233		通信モード中、USB ケーブル未接続時、ハンズフ リー対応機器接続時→P.65、309

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.309		マルチタスク中→P.323
	miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器未接続時→P.309		バイブレーション設定中→P.120
	miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、309		着信音量を「消去」に設定中→P.71 メール/メッセージ鳴動を「OFF」に設定中→P.121
	miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハンズフリー対応機器接続時→P.65、309		マナーモード設定中→P.122
	赤外線通信中→P.312		遠隔監視設定中→P.93
	赤外線リモコン操作中→P.316		公共モード（ドライブモード）設定中→P.73
	miniSDメモリーカード取り付け時→P.302		アラーム通知機能設定中→P.324
	miniSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.302		伝言メモ設定中→P.77
	miniSDリーダライタ使用中→P.309		留守番電話の伝言メッセージあり→P.348
	音声通話中→P.54		バックライトを「OFF」に設定中→P.128
	64Kデータ通信中*1		サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中→P.154
	テレビ電話中の通信速度を表示→P.83		
	音声電話・テレビ電話切替中→P.56、86		

*1：アイコンの詳細については、添付のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

デスクトップアイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	情報を通知するデスクトップアイコン→P.138
など	貼り付けたデスクトップアイコン→P.135

タスクアイコン / i チャネルテロップ / 時計表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	タスクアイコン→P.139
i チャネルテロップ	待受画面のテロップ表示→P.273
時計表示	待受画面の時計表示→P.134 (待受画面以外の場合は時計表示の設定に関係なく時刻を表示)

ソフトキー表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	ファンクションボタン1 に対応するソフトキーの内容を表示→P.28		マルチファンクションボタン のそれぞれの方向ボタンが使えるときに表示
	決定ボタン に対応するソフトキーの内容を表示→P.28		ファンクションボタン2 に対応するソフトキーの内容を表示→P.28

■ イルミネーション・ウィンドウ



04.11 TUE PM 05:23


アイコン表示エリア



2006.04.11 TUE PM 05:23




アイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
	電池残量表示→P.49		パケット通信中※ ¹
	オールロック設定中→P.147		パケット通信中(発信)※ ¹
	シークレットモード中、シークレット専用モード中 →P.149		パケット通信中(着信)※ ¹
	PIMロック設定中→P.152		パケット通信中(データ送信中)※ ¹
	ダイヤル発信制限中→P.154		パケット通信中(データ受信中)※ ¹
	ダイヤル発信制限とシークレットモードまたは シークレット専用モードを同時に設定中 →P.149、154		SSL対応ページを表示中→P.191
	ダイヤル発信制限とPIMロックを同時に設定中 →P.152、154		サイドボタンを「閉じた時無効」に設定中 →P.154
	未読メールあり→P.231		miniSDメモリーカード取り付け時→P.302
	受信BOX満杯→P.231		miniSDメモリーカード(不正)取り付け時 →P.302
	FOMAカードのSMS満杯→P.258		miniSDリーダライタ使用中→P.309
	未読メールあり/FOMAカードのSMS満杯 →P.258		通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフ リー対応機器未接続時→P.309
	受信BOX満杯/FOMAカードのSMS満杯 →P.231、258		通信モード中、USBケーブル接続時、ハンズフ リー対応機器未接続時→P.309
	iモードセンターにメールあり→P.234		通信モード中、USBケーブル接続時、ハンズフ リー対応機器接続時→P.65、309
	iモードセンターのメール満杯→P.234		通信モード中、USBケーブル未接続時、ハンズフ リー対応機器接続時→P.65、309
	「メール選択受信設定」が「ON」に設定されてい るときにiモードセンターにメールあり →P.233		miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハン ズフリー対応機器未接続時→P.309
	iモードセンターにメッセージRあり→P.205		miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズ フリー対応機器未接続時→P.309
	iモードセンターのメッセージR満杯→P.205		miniSDモード中、USBケーブル接続時、ハンズ フリー対応機器接続時→P.65、309
	iモードセンターにメッセージFあり→P.205		miniSDモード中、USBケーブル未接続時、ハン ズフリー対応機器接続時→P.65、309
	iモードセンターのメッセージF満杯→P.205		赤外線通信中→P.312
	電波の受信レベル→P.50		赤外線リモコン操作中→P.316
	サービスエリア外や電波が届かないところにいる ときに表示→P.50		音声通話中→P.54
	セルフモード設定中→P.159		64Kデータ通信中※ ¹
	iモード中→P.189		テレビ電話中の通信速度を表示→P.83
	iモード通信中→P.189		音声・テレビ電話切替中→P.56、86

アイコン	アイコンの内容
	マナーモード設定中→P.122

※1：アイコンの詳細については、添付のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

おしらせ

- 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 表示アイコンの名称は、   を押して確認できます。

イルミネーション・ウィンドウ（背面ディスプレイ）の見かた

イルミネーション・ウィンドウには、電話やメールなどの着信やアラーム通知などがメッセージやアニメーションなどで表示されるので、本FOMA端末の状況をすぐに確認できます。

- イルミネーション・ウィンドウに表示される内容は、「イルミネーション・ウィンドウ」（P.127）の設定内容（文字・情報表示／時計固定表示／OFF）によって異なります。

表示例

■時計表示

待受中に時計が表示されます。表示サイズやアイコン表示の有無などを組み合わせた5種類の表示パターンがあります。



「時計2」に設定したときの例



「時計4」に設定したときの例

■着信中表示

電話がかかってきたときに、電話帳の「名前」や「電話番号」などが表示されます。そのほか「非通知設定」、「公衆電話」などと表示されることもあります。



相手が電話帳に登録されているときの例



相手が電話帳に登録されていないときの例

■新しいメールを受信したとき

「イルミネーション・ウィンドウ」（P.127）のメール表示を「ON」に設定しているときは、「受信完了しました」と表示された後に「送信日時／送信元／題名」が表示されます。



メール・メッセージ 受信



受信完了しました

■新しいiチャネル情報を受信したとき

「テロップ表示設定」（P.274）を「イルミネーション・ウィンドウON」に設定しているときは、新しいiチャネル情報を受信すると2回テロップ表示されます。



← 明日は全国的に →

← 明日は全国的に穏やかな天気 →

■その他の表示

本FOMA端末の各種の状態を通知します。通知内容にはさまざまなものがあります。



★赤外線通信中★

電話やメールの相手を確認するとき

不在着信や新着メールがあるときに [HOME] を押すと内容を確認できます。

- ツールグループの機能 (P.40) を操作している場合は、イルミネーション・ウィンドウで不在着信を確認できません。

■ 不在着信表示

最新の3件まで確認することができます。



■ 新着メール表示

「イルミネーション・ウィンドウ」(P.127) のメール表示を「ON」に設定しているときは、「送信日時／送信元／題名」が表示されます。複数のメールを同時に受信した場合は、最新の3件まで確認することができます。



時計表示や i チャネル情報を確認するとき

イルミネーション・ウィンドウ非点灯時に [HOME] を押すと、イルミネーション・ウィンドウが点灯し、時刻などを確認することができます。「テロップ表示設定」(P.274) を「イルミネーション・ウィンドウ ON」に設定しているときは、さらに [HOME] を押すと、i チャネル情報が2回テロップ表示されます。



お知らせ

- i チャネル情報がテロップ表示されているときに [HOME] または [MEMO / CHECK] を押すと、テロップが消え、イルミネーション・ウィンドウが非点灯状態になります。
- 「イルミネーション・ウィンドウ」(P.127) のメール表示を「ON」に設定しているときや、「履歴表示設定」(P.155) の着信履歴を「ON」に設定しているときに、新着メールや不在着信がある場合、[HOME] を押しても i チャネル情報は表示されず、「メール表示」や「着信履歴」が優先されます。新着メール、着信履歴の内容を確認した後、[HOME] を押すと、i チャネル情報が2回テロップ表示されます。

メニューの選択方法

本FOMA端末の各種機能を実行、設定、確認する方法は1つだけではありません。主に、メインメニューから機能を選択する方法と、メニュー番号に対応するボタンを押して機能呼び出す方法があります。よく使う機能を「オリジナルメニュー」に登録しておき、素早く実行する方法もあります。

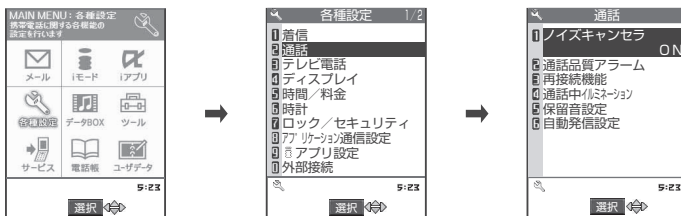
- 待受画面で [MAIL] を押すとメールメニュー (P.216) が、 [mode] を押すと i モードメニュー (P.189) が簡単に表示できます。

メインメニューから機能を選択する

本FOMA端末の各種機能は、機能ごとに分類されています。→P.40
これらの機能は [MENU] を押して表示されるメインメニューから選択することができます。

<例> 「通話中イルミネーション」機能の点滅色を設定する場合>

- 1** [MENU] を押す ▶ [各種設定] で (各種設定) を反転し [選択] を押す ▶ [通話] を反転し [選択] を押す



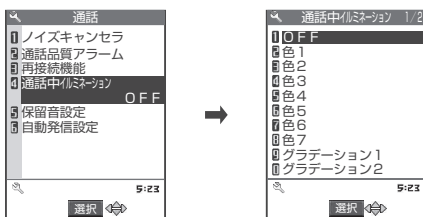
- 連続移動させる場合

▶ [各種設定] を押し続ける

- メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合

メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

- 2** [通話] で「通話中イルミネーション」を反転し、 [選択] を押す



おしらせ

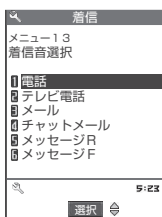
- 「メニュー画面設定」でメインメニューのガイダンスを表示しないように設定できます。→P.130

メニュー番号を押して機能呼び出す

あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号に対応するボタンを押すと、その機能を素早く呼び出すことができます。→P.380


<例：「着信音選択」を呼び出す場合>





1 MENU 1 3 と3つのボタンを続けて押す



各種画面の基本操作

● 選択する項目が複数ページにわたる場合



1  でページを切り替える

 (または  [HOME]) を押すと前のページに、 (または  [MEMO / CHECK]) を押すと次のページに切り替わります。



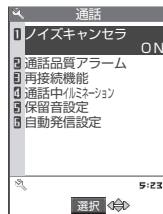
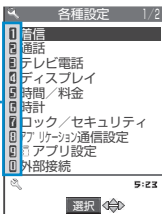
「現在のページ数 / 全体のページ数」

■  で切り替える場合

反転表示が一番上にあるときに  を押すと前のページに、一番下にあるときに  を押すと次のページに切り替わります。

● ダイヤルボタンで項目を選択する方法

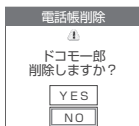
1 メニュー番号に対応している  ~  を押す



メニュー番号

●「YES / NO」や「ON / OFF」を選択する場合

- 1  で囲み枠を選択する項目に移動し  【選択】 を押す



●ピクチャー一覧で画像を選択する場合

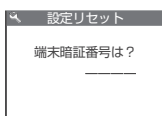
- 1  で囲み枠を選択する画像に移動し  【表示】 を押す



● 端末暗証番号の入力

機能によっては端末暗証番号 (P.144) の入力画面が表示される場合があります。機能を実行するには、端末暗証番号を入力してください。

- 1 4～8桁の端末暗証番号を入力し  【確定】 を押す



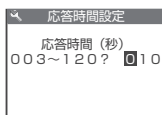
入力した端末暗証番号は「_」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。


■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

- 1  ～  を押して数値を入力する



3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に  を2回または1回押します。

■ 「3」を入力する場合


▶   

■ 「12」を入力する場合


▶   

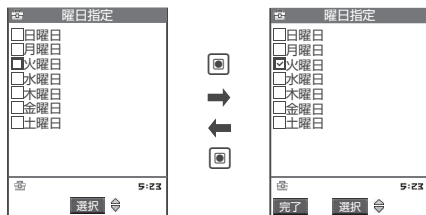
● チェックマークを付ける場合（複数選択）

1 で囲み枠を選択する項目に移動し 【選択】 を押す

チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。 【選択】 を押すたびに、□と☑が切り替わります。


ソフトキーに「完了」が表示されている場合は、 【完了】 を押すと選択した項目が決定されます。

ソフトキーに「機能」が表示されている場合は、 【機能】 を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。





操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

● について

間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときには  を押します。原則として1つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。

● について

設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは  を押します。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。たとえば、マルチタスク中は、起動中の他の画面が表示されます。

設定の途中などに  を押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。ただし、設定項目によっては、破棄するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。


オリジナルメニューから機能呼び出す

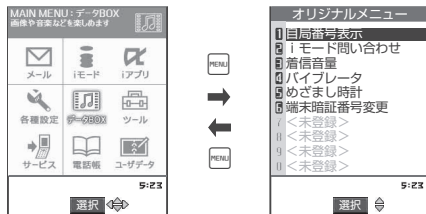
オリジナルメニューを使うと、機能を簡単に呼び出せます。

● オリジナルメニューの内容は、「オリジナルメニュー登録」で変更できます。→P.132


● オリジナルメニューは「一覧表示」で表示されます。

1 を押す ▶ を押す

 を押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

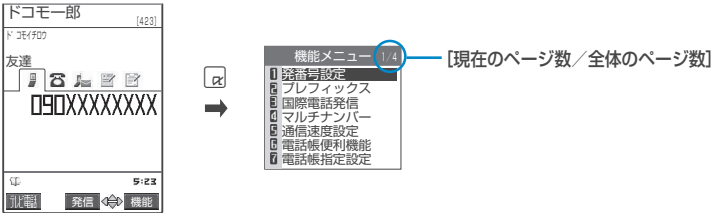


おしらせ

- オリジナルメニューから待受画面に戻った場合、またはオリジナルメニューから機能呼び出した場合は、次に  を押すとオリジナルメニューが表示されます。
- オリジナルメニューに機能が1件も登録されていない場合は、オリジナルメニューを登録するかどうかのメッセージが表示されます。

機能メニューについて

登録や編集、削除などができる機能を操作している場合、ソフトキーに「機能」が表示されます。☑ [機能] を押すと機能メニューが表示されます。



- 操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容は異なります。
- 設定状態などにより、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

■ 一覧画面での機能メニューについて

一覧画面の機能メニューは、一覧で反転表示したデータが操作対象になる場合と、一覧中のすべてのデータが操作対象になる場合があります。たとえば、「1件削除」は反転表示したデータが操作対象となり、「全削除」はすべてのデータが操作対象になります。

「1件削除」のように、一覧中の1つのデータを対象とする機能メニューを選択する場合は、あらかじめそのデータを反転表示させてから☑ [機能] を押してください。

■ 反転表示したデータが操作対象となる機能メニューの記載について

一覧画面の機能メニューの説明欄は、次の例のように、「操作対象」に対する記載を省略しています。

<例：受信メール一覧画面の機能メニューの抜粋>

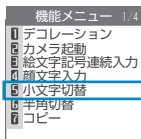
削除……メールを1件削除します。

この例で1件削除の対象となるのは、一覧画面で反転表示した受信メールのことです。

表示が交互に切り替わるメニューについて

メニューによっては、メニュー名が以下の画面例のように交互に切り替わるものがあります。

<画面例1>

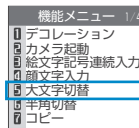


「小文字切替」を選択



「大文字切替」を選択

<画面例2>



本FOMA端末で文字を入力しているとき、「大文字を入力できる状態」にあるときは、<画面例1>のように「小文字切替」と表示されます。この状態で「小文字切替」を選択すると、「小文字を入力できる状態」になり、次に機能メニューを表示したときには、メニュー名が「大文字切替」に切り替わります。

■ 表示が交互に切り替わるメニューの記載について

このようなメニューは「小文字切替⇄大文字切替」と記載しています。

メニュー操作の表記について

本書では、原則として操作手順を次のように簡略に記載しています。

操作手順の記載例と実際の操作



- ①: ボタンを押します。
- ②: [] で反転表示をメニューアイコンに移動し [] [選択] を押します。
- ③: [] で反転表示を「 」内の項目に移動し [] [選択] を押します。
または「 」内の項目のメニュー番号に対応する [] ~ [] を押します。
- ④: [] で反転表示を移動します。
- ⑤: [] 内に示したソフトキーに対応するファンクションボタンを押します。

表記ルール

■ 「選択」「確定」操作における [] の省略

- ・上記記載例②、③のようにアイコンや一覧から目的の機能を選択するときは [] [選択] を省略して記載しています。
- ・同様に「項目を選択」、「端末暗証番号を入力」などと記載している場合も [] [選択] または [] [確定] を省略して記載しています。
- ※ [] [選択] を押さずに次の操作に移る場合は、上記記載例④のように「～を反転」と記載しています。

■ メニュー番号による操作を優先記載

- ・操作の方法は1つだけではない場合があります。複数の操作があるときは、メニュー番号による操作 (P.35) を記載しています。
- 「メニュー機能一覧」 → P.380
- ・メインメニューのアイコンから機能を選択する場合は、「メニュー機能について」 (P.40) をご覧になって操作してください。

■ 操作終了後の記載の省略

- ・目的の機能操作を終了した後の操作説明は省略しています。待受画面に戻る場合は [] を、1つ前の画面に戻る場合は [] を押してください。

メニュー機能について

本FOMA端末でいろいろな機能を設定したり確認したりする方法の1つに、各機能をメインメニューから呼び出す方法があります。メインメニューは **MENU** を押すと表示できます。メニューは次のような構成になっています。



<メールグループ>

●メール

送受信メールの閲覧や新規作成、送信ができます。

メール
受信BOX
送信BOX
保存BOX
新規メール作成
チャットメール
SMS作成
iモード問い合わせ
メール選択受信
SMS問い合わせ
テンプレート
メール設定

<iモードグループ>

●iモード

サイトの接続などのiモードサービスが利用できます。

iモードメニュー
i Menu
Bookmark
画面メモ
ファストURL
Internet
iチャネル
メッセージ
iモード問い合わせ
ユーザ証明書操作
iモード設定

●iアプリ

いろいろなソフトを呼び出して楽しめます。

iアプリ
ソフトウェア
自動起動設定
iアプリ実行情報

<ツールグループ>

●データBOX

画像や音楽などを楽しめます。

データBOX
マイピクチャ
ダウンロード
メロディ
キャラ電
ミュージック

●電話帳

電話帳の登録、検索や設定などを行います。

電話帳
電話帳登録
電話帳検索
電話帳登録件数
電話帳便利機能
電話帳指定設定
グループ設定

●ユーザデータ

個人データや履歴の管理、確認を行います。

ユーザデータ
自動番号表示
着信履歴
発信履歴
メールメンバー
チャットグループ
定型文
ユーザ辞書
ダウンロード辞書

●ツール

カメラ、アラームやデータ交換など便利な機能を利用できます。

ツール
カメラ
スケジュール
めざまし時計
ToDo
テキストメモ
電卓
メモの再生/消去
伝言メモ
待受中音声メモ
おしゃべり機能
赤外線受信
FOMAカード(UIM)操作
電話帳画像転送
アクセスリーダー
バーコードリーダー
SD-PIM
辞典

＜各種設定グループ＞

●各種設定

携帯電話に関する各機能の設定を行います。

各種設定
着信
通話
テレビ電話
ディスプレイ
時間/料金
時計
ロック/セキュリティ
アプリケーション通信設定
外部接続
その他

●サービス

ネットワークサービスの設定や確認を行います。

サービス
サービス問い合わせ
発信者番号通知
留守番電話
チャットホン
転送でんわ
迷惑電話ストップ
番号通知お願いサービス
着信動作選択
通話中着信設定
遠隔操作設定
デュアルネットワーク
英語ガイダンス
追加サービス
サービスダイヤル
マルチナンバ

着信
着信音準
着信音選択
SRS_WOW設定
バイプレータ
着信イルミネーション
マナーモード選択
電話映画像着信設定
着信アンサー設定
クロース動作設定
メール/メッセージ振動
呼出時間表示設定
確認機能設定

ロック/セキュリティ
オールロック
PLMロック
シンプルロック
セルブモード
ダイヤル発信制限
登録外着信拒否
非通知着信設定
端末暗証番号変更
PIN設定
シークレットモード
シークレット専用モード
スキャン機能
遠隔オールロック

通話
ノイズキャンセラ
通話品質アラーム
再接続機能
通話中イルミネーション
保留音設定
自動発信設定

アプリケーション通信設定
接続待ち時間設定
Tモード問い合わせ設定
接続先選択
SMS center設定
証明書
証明書センター接続設定

テレビ電話
送信画像設定
画像選択
音声自動再発信
遠隔監視設定
親画面表示
テレビ電話切替通知
ハンズフリー切替

アプリ設定
ソフト情報表示設定
待受画面終了

ディスプレイ
画面表示設定
照明設定
画面デザイン
イルミネーション・ウィンドウ
フォント設定
デスクトップ
バイリンガル
オリジナルメニュー登録
メニュー画面設定
ピクチャ表示設定
オート表示
表示アイコン説明

外部接続
USBモード設定
通知音出力切替
イヤホン接続時マイク切替
オート着信

時間/料金
通話時間/料金
通話料金通知
積算リセット
積算料金自動リセット
通話中時間表示

その他
スタイルモード
ボタン確認音
充電確認音
電池残量
サイドボタン操作
文字入力方式
履歴表示設定
ポーズダイヤル
サブアドレス設定
プレフィックス設定
国際ダイヤル設定
PLMN設定
表示アイコン選択設定
設定リセット
端末初期化
ソフトウェア更新

時計
時計設定
待受時計表示
アラーム通知設定

ご使用前の確認

メニュー機能について

「マルチタスクについて」→P.323

本FOMA端末はメインメニューの各グループから最大3つの機能を同時に使うことができる「マルチタスク」に対応しています。マルチタスク中は、使用中のメニューのグループがわく囲みされます。



使用中のグループはわく囲みされます。

FOMAカードを使う

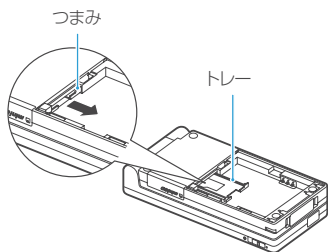
FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。→P.45
また、本FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

● FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードの取り付け／取り外しには専用のトレーが必要となります。FOMAカードをそのまま取り付け
ないでください。

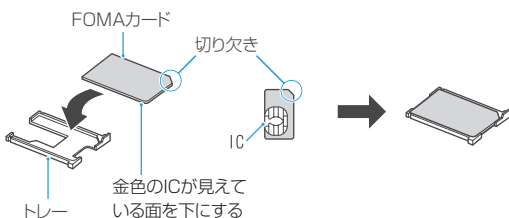
イラストはFOMAカードを取り付ける方法を示しています。

① トレーのつまみを引いてトレーを引き出す

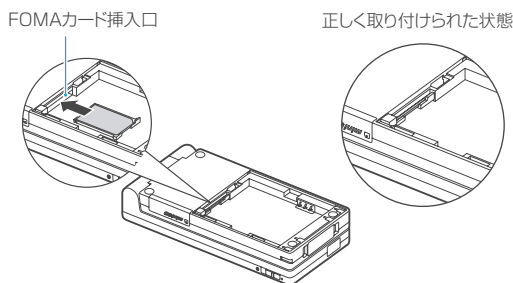


② FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでトレーにのせる

FOMAカードを取り外す場合は、トレーにのっているFOMAカードを取り外します。



③ トレーが固定されるようにFOMAカード挿入口に奥まで差し込む



おしらせ


- 無理に取り付けようとしていたり、取り外そうとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したFOMAカード、トレーはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようご注意ください。
- FOMAカードを正しく取り付けしていない場合や、FOMAカードに異常がある場合はエラーメッセージ (P.398) が表示されます。

FOMAカードの暗証番号について

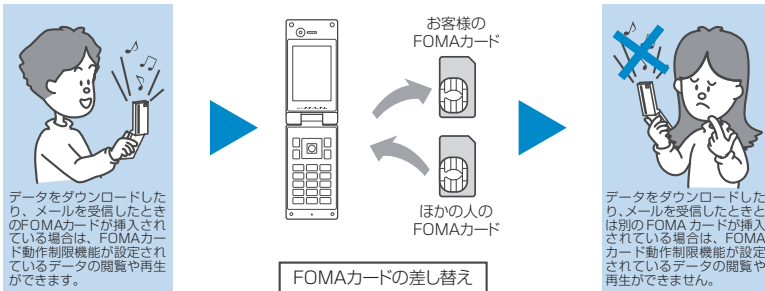
FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.145

FOMAカード動作制限機能について

FOMAカード動作制限機能とは、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能です。iモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、iモードメールに添付されているデータやファイルを取得すると、FOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。

別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルには「」が表示されます。

- FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
 - ・ iモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードした i アプリ/メロディ/画像/キャラ電/ダウンロード辞書/画像が含まれているテンプレート
 - ・ iモードのサイトやインターネットホームページから取得した i モーション
 - ・ メロディ/画像/ i モーション/キャラ電/ダウンロード辞書/テンプレートが含まれている画面メモ
 - ・ 受信BOX内の i モードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル (メロディ/画像)
 - ・ 送信BOX/保存BOX内の i モードメールに添付されているファイル (メロディ/画像/ i モーション。ただし、本FOMA端末で作成または撮影したデータは除く)
 - ・ ファイル (メロディ/画像) が添付されている、または貼り付けられているメッセージR、メッセージF
 - ・ デコメール本文中に挿入されている画像
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、別のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできません。
- 赤外線通信機能やデータの送受信 (OBEX) 機能、miniSDメモリーカード、バーコードリーダーを使って登録したデータ、内蔵カメラで撮影した静止画/動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。



おしらせ

- FOMAカード動作制限機能が設定されると、ほかの人のFOMAカードに差し替えたときは、「画面表示設定」や「着信音選択」などで本機能が設定されたデータやファイルを設定することができません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げのときの設定で動作します。
- あらかじめ登録されている i アプリでも、一度削除して再度サイトからダウンロードしたりバージョンアップすると、本機能の対象になります。
- FOMAカード動作制限機能が設定されていると、iモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、iアプリを起動することはできません。
- iチャネルサービスで受信したニュースなどの情報は、別のFOMAカードに差し替えると消去されます。
- 他の iチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、その端末のテロップは表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信するには、iチャネル対応ボタンを押してチャネル一覧を表示してください。その場合は、テロップも自動的に表示されるようになります。

FOMAカード差し替え時の設定について

本FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替えたFOMAカードの設定値になります。

- ・バイリンガル (P.135)
- ・SMS center設定(P.258)
- ・SMS有効期間設定(P.248)
- ・PIN設定 (P.145)
- ・接続先選択 (P.203)

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMA端末でFOMAカードをご使用になる場合、以下のような機能差分があります。

機能	FOMAカード(青色)	FOMAカード(緑色)
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用いただけます。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

● 電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。

● 取り付けかた

1 リアカバーを取り外す

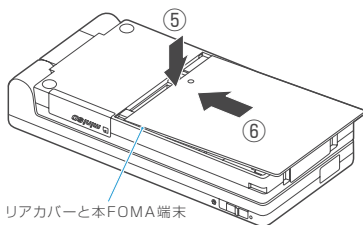
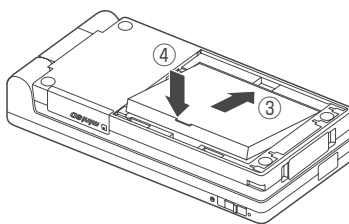
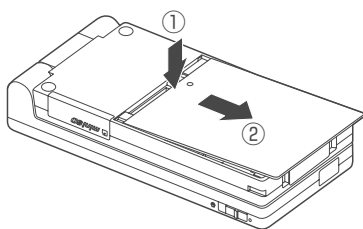
リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り付ける

電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックのツメを本FOMA端末（本体）の溝に確実に合わせ③の方向に取り付けてから、④の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約3mm開けた状態で本FOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑤の方向へ押し付けながら⑥の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。



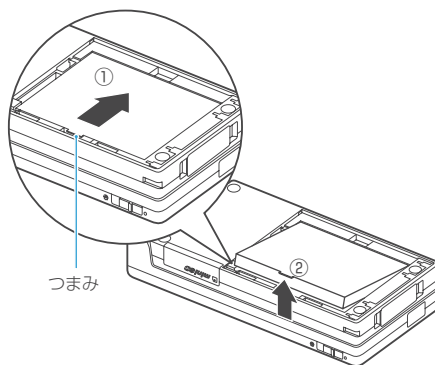
リアカバーと本FOMA端末（本体）にすきまがないことを確認してください。

● 取り外しかた

1 リアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出す

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。



おしらせ

- 無理に取り付けようすると本FOMA端末側の電池パックとつながる充電端子が壊れることがありますのでご注意ください。
- リアカバーの先端部を本体に差し込んだ状態で、無理に押さえ込まないでください。リアカバーのツメがこわれることがあります。
- 詳しくは電池パック N10の取扱説明書をご覧ください。

電池の上手な使いかた

本FOMA端末専用の電池パック N10をご利用ください。

■電池の寿命

- ・電池は消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- ・1回で使うことのできる時間が、使いはじめたときに比べ半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- ・電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。



環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- ・詳しくはFOMA ACアダプタ 01 (別売)、FOMA DCアダプタ 01 (別売) の取扱説明書をご覧ください。
- ・ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックを本FOMA端末に付けた状態でないと充電できません。
- ・充電中でも本FOMA 端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。「照明設定」の「充電時」を「常時点灯」に設定しているときも充電時間が長くなります。
- ・コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。

■電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください

充電時に本FOMA端末の電源を入れたまま長時間おくと、充電が終わった後、本FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本FOMA端末を一度ACアダプタ(または卓上ホルダ)、DCアダプタから外して再度取り付け直ししてください。

電池の使用時間の目安

(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります)

連続通話時間	連続待受時間
音声電話 : 約140分 テレビ電話 : 約90分	静止時 : 約560時間 移動時 : 約400時間

- ・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ・連続待受時間とは本FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか、弱い場合等)などにより、通話(通信)・待受時間は約半分程度になることがあります。i モード通信を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また通話や i モード通信をしなくても、i モードメールを作成したり、ダウンロードした i アプリ、i アプリ待受画面を起動したり、音楽を再生したりすると、通話(通信)・待受時間は短くなります。
- ・静止時の連続待受時間とは、本FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ・移動時の連続待受時間とは、本FOMA 端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ・miniSDメモリーカードを取り付けているとき、データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラやライトを使用したときも、通話(通信)・待受時間は短くなります。

おしらせ

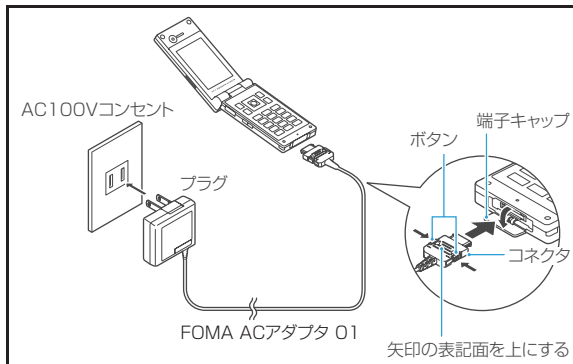
- 電池残量がなくなったときや電池パックを外したときは、静止画や動画の保存などはできません。

携帯電話を充電する

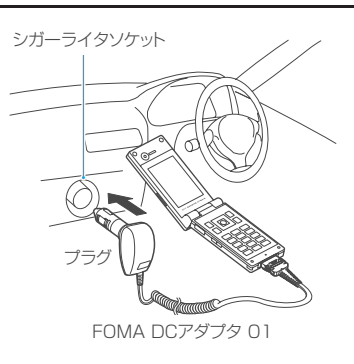
- ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）で充電できます。また、ACアダプタと卓上ホルダ（別売）を組み合わせると充電できます。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

■ ACアダプタの場合



■ DCアダプタの場合



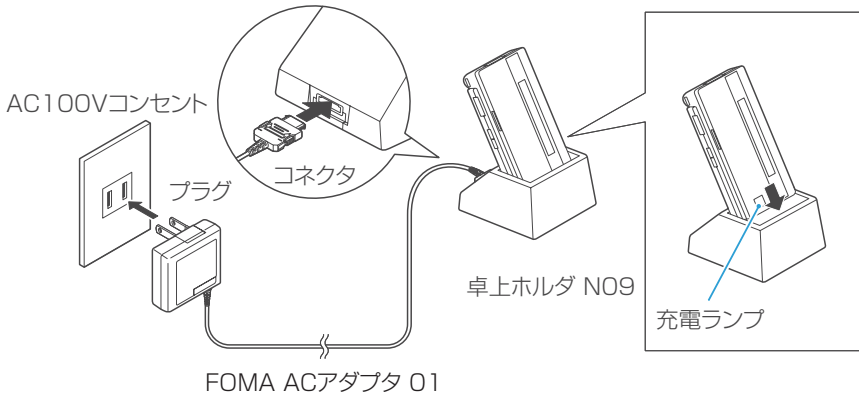
- 1 本FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける
- 2 ACアダプタ／DCアダプタのコネクタを本FOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む
- 3 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットに差し込む
充電がはじまります。

充電時間の目安

約120分

- 4 充電が終わったら、ボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタを本FOMA端末から水平に引き抜く
- 5 ACアダプタのプラグをコンセントから抜く
DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットから抜く
- 6 本FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

卓上ホルダで充電する

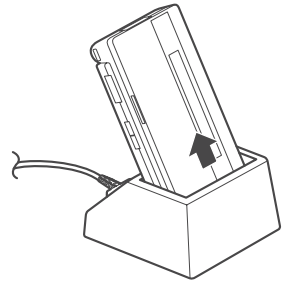


- 1 ACアダプタのコネクタを卓上ホルダ背面の端子に差し込む
- 2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
- 3 上図のように本FOMA端末を卓上ホルダにしっかりと差し込む
充電がはじまります。



充電時間の目安

約120分


- 4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながら本FOMA端末の両側を持って矢印の方向へ持ち上げ、本FOMA端末を卓上ホルダから外す



おしらせ

- 電池パック単体の充電はできません。必ず本FOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 電池が切れた状態や、電話帳などのデータがいついばいで電源を切っている場合、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電自体ははじまっています。
- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です。電源が入っている場合、充電中は「」が点滅し、充電が終了すると、「」が点灯します。
- 電源を入れておくと、充電中でも電話を受けることができます（充電時間は目安より長くなります）。
- 電源を入れておくと、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。ただしマナーモードや公共モード（ドライブモード）に設定している場合や「充電確認音」（P.121）を「OFF」に設定している場合、確認音はなりません。

<ACアダプタ / DCアダプタ>

- 本FOMA端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「」が消灯し、「充電器異常 充電を中止してください」などと表示された場合は、本FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- DCアダプタは12V / 24V マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

<卓上ホルダ>

- 本FOMA端末は卓上ホルダにしっかりと取り付けてください。また、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

電池残量の確認のしかた

残量の確認は目安としてご利用ください。

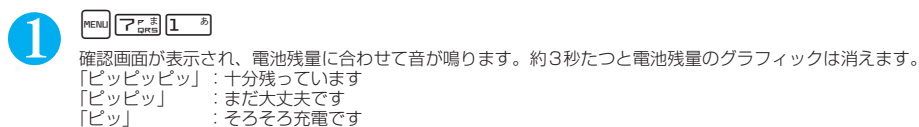
電池残量表示で確認する

本FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。



音と表示で確認する

電池残量を音と表示でお知らせします。



おしらせ

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。

電池が切れたときは？



電池切れアラームとともに左のような画面を点滅表示します。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合は **[HOME]**、**[MEMO / CHECK]** 以外のいずれかのボタンを押してください。


おしらせ

- 通話中の場合は、電池切れ画面と「ビッビッビッ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
- 「マナーモード」に設定中で、設定中の動作が「マナーモード」、「スーパーサイレント」の場合、または「低電圧アラーム」を「OFF」に設定している「オリジナルマナー」の場合、電池切れアラームは鳴りません。

電源を入れる／切る

- お買い上げ後はじめてお使いになる場合（または長時間お使いにならなかった場合）は、必ず充電してからお使いください。また、充電には必ず専用のACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）をお使いください。
- お買い上げのときは、日付・時刻は設定されていません。「時計設定」で設定してください。→ P.51

電源を入れる


- 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。→ P.42
- お買い上げ後はじめて電源を入れたときは、画面右上に「」が表示されます。

1

(1秒以上)

待受画面または初期値設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「WAIT A MINUTE」と画面に表示される場合があります。

■ 「」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。



■ PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

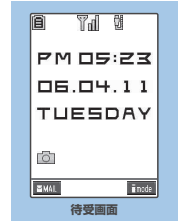
PIN1コード入力画面が表示されます。

■ 積算料金自動リセットを「ON」に設定している場合

PIN2コード入力画面が表示されます。

■ 初期値設定画面が表示された場合

初期設定を行います。→ P.50



待受画面


電源を切る

1

(2秒以上)

終了画面が表示され、電源が切れます。

おしらせ

- 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が切れることがあります。できるだけ「」が表示されている状態で使用することをおすすめします。
- 電源を切った後は、しばらくたってから電源を入れてください。

〈初期値設定〉

初期設定を行う

電源を入れた後に初期値設定として「時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「ボタン確認音」を設定することができます。

- それぞれの機能をすでに設定しているときは、その機能の設定画面は表示されません。
- すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期値設定の画面は表示されません。また、初期値設定の画面が表示されない状態で「設定リセット」を行っても、初期値設定の画面は表示されません。
- PIN1コード入力を「ON」に設定している場合は、電源を入れた後、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると初期値設定の画面が表示されます。→ P.145

1

初期値設定画面 ▶ 「YES」

2

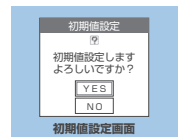
時計を設定

時計設定について→ P.51

3

端末暗証番号を変更

端末暗証番号はお買い上げのときは「0000」に設定されています。
端末暗証番号を変更する→ P.144



初期値設定画面

4

ボタン確認音を設定

ボタン確認音について→P.120

5

ソフトウェアを更新

ソフトウェアの更新について→P.406

お知らせ

- 設定中に電話がかかってきたり、 または を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
- それぞれの機能を個別に設定することもできます。
- 初期設定を中止した場合もソフトウェアの更新をするかどうかの確認画面が表示されます。

〈時計設定〉**日付・時刻を合わせる**

本FOMA端末の日付と時刻を設定します。日付と時刻は自動で補正するように設定できます。

- 日付・時刻を設定すると、待受画面やイルミネーション・ウィンドウなどに表示されるようになり、「めざまし時計」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。日付・時刻の表示は2037年12月31日23時59分以降進みません。
- 「初期値設定」で日付・時刻を設定することもできます。→P.50

1

 以下の項目から選択

自動時刻補正する（お買い上げ時）……日付・時刻を自動で設定します。

「自動時刻補正する」を選択したときに時刻情報を取得して自動的に日付と時刻を設定します。

自動時刻補正しない……日付・時刻を手動で設定します。時刻をずらして設定したいときなどに設定します。

■「自動時刻補正しない」を選択した場合

年（西暦）、月、日、時刻を入力します。

＜例＞2006年4月11日、午後5時23分に設定する場合＞



を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。時刻は「待受時計表示」（P.134）の表示形式（12時間形式／24時間形式）の設定にかかわらず、24時間形式で入力します。

ここでは 、、、、、、、、、、 と押します。

お知らせ

- 手動で日付・時刻を設定する場合は正しく入力してください。
- 設定した日付・時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外していると保持されない場合があります。そのような場合で、「自動補正しない」に設定するときは、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。

<自動時刻補正>

- 次の場合に時刻情報をネットワークから取得して補正します（ただし、状況によっては自動補正を行わない場合もあります）。
 - ・ 電源を入れたとき
 - ・ 待受画面表示中で、他の機能が起動していないときに充電を開始したとき
 - ・ 「自動時刻補正する」を設定したとき
- FOMAカードが取り付けられていない場合や が表示されているところでは補正が行われません。
- 「iアプリ待受画面」を設定している場合、設定した i アプリによっては補正が行えないことがあります。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈発信者番号通知〉

相手に自分の電話番号を通知する

ご契約時：通知しない

お申し込み：不要

月額使用料：無料

本FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知するには十分にご注意ください。

- 「**圏外**」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- 発信者番号通知は相手の電話機が発信者番号表示が可能なおきだけ有効です。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、電話を切って発信者番号を「通知する」に設定してから直せば相手に電話がかかります。

1




▶ **以下の項目から選択**

発信者番号通知設定……ネットワーク暗証番号について→P.144

通知する……▶ ネットワーク暗証番号を入力

通知しない……▶ ネットワーク暗証番号を入力

発信者番号通知設定確認……▶ 発信者番号の通知設定を確認 ▶ 「OK」

おしらせ

- 電話番号をダイヤルしたときや、「電話帳」、「リダイヤル」または「着信履歴」で電話番号を表示させたときに、発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.55

〈自局番号表示〉

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認できます。

1





おしらせ

- お買い上げ時は自局番号のみ表示されます。
- お客様の個人データ（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。登録、表示のしかた → P.331
- iモードのメールアドレスは、iモードメニュー ▶ 「Menu」 ▶ 「オプション設定」 ▶ 「メール設定」 ▶ 「アドレス確認」の順に操作すると確認できます。